

私の写生地

南信州の山々を

描く

東京 水嶋 靖博

南信州を、木曾路、伊那路、そして秋葉路に分けて、御案内します。

一、木曾路に沿って

権兵衛峠にトンネルが出来、木曾は近くなりました。しかし、「木曾路は、すべて山の中」には変わりません。木曾前岳などの中央アルプス（絵①）も、上松の高台から画きました。独立峰である御獄山は、木曾駒高原や上松などからも取材しましたが、やはり長峰峠（絵②）が



▲ 絵①



◀ 絵②



▶ 絵③

一番好きです。ほかに、大平台（絵③）や、鈴蘭峠からの眺めも良いと思います。二、伊那路に沿って
天龍川の東西に百五十三号線と、十八号線が走っています。国道を下ると、駒ヶ根では宝剣岳など、さらに飯島では、南駒ヶ岳（絵④）などが描けます。
さて、川を渡って十八号に入り、北上しますと、河岸段丘が続きます。大草城址公園辺りは残雪の空木岳などの山並みと桜が映える風景（絵⑤）を絵に出来まは多数出来ると思います。



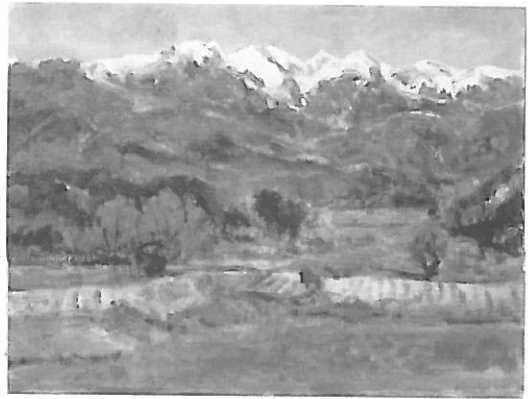
▶ 絵④



◀ 絵⑤



▶ 絵⑥



絵⑦



絵⑧



絵⑩



絵⑪

三 秋葉路に沿って

茅野から、大鹿村を通り、浜松に至る道です。高遠の桜と仙丈ヶ岳は、多くの方々が題材としておられます。高遠湖を過ぎると鋸岳が見えます。そこから戸台川沿いに小一時間程歩くと、甲斐駒ヶ岳の雄姿(絵⑧)に出会えます。但し、「熊が、あなたを見ています」なる看板にも出会えます。さて、次は赤石岳が見える大鹿村ですが通過します。この路で最大の取材地は「日本のチロル」と称される下栗の里(絵⑨⑩⑪)です。平家落人の里でもあるようです。

さらに南アルプスの雄大な展望を求め

るのであれば、ここから山道を車で一時間程登った「しらびそ高原」を薦めます。聖岳や赤石岳などの山々(絵⑫)が描けます。帰路は、高原を降り、秋葉街道経由が良いと思います。私は写生の旅によく出かけます。御一緒にしませんか？



絵⑨

絵⑫

